

ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から ゴムを利用した歩行器具の実証事業を開始

大府市が幸齢社会の実現に進むため、ウェルネスバレー関係機関と市外内のものづくり企業のワンストップで支援するワンストップ窓口事業から、入居者の歩行機能の向上を目的とした歩行器具の実証事業が次の通り開始されました。

■「歩行器具実証事業」の概要

実証期間／1月17日（月）～3月

経緯／株式会社 YAMADA から、ゴムを利用した歩行器具（e-foot）の実証先紹介の相談があり、ルミナス大府につなぎ実証事業を開始することとなりました。

開発企業／株式会社 YAMADA（静岡県浜松市南区若林町 75-1）

事業内容：歩行補助具研究・開発・製造・販売 勉強会開催・歩行トレーニング指導

e-foot装着時の体への作用

ゴムが筋肉をサポートし、歩行を支援。



①姿勢改善

コルセットにより腹圧を高め腰の安定性を図る



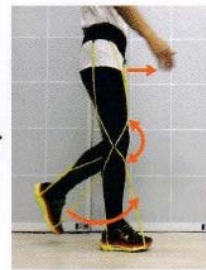
②踏み予防

股関節とかかとを引き上げる



③踏み予防（踵接地）

つま先を上げる。殿筋を補助し前方傾斜を防ぐ



④前方推進力

四頭筋を補助し膝を安定させ脚を振出す



⑤膝の安定性

膝崩れを防ぎ階段・坂道もスムーズ

実証先施設／介護老人保健施設ルミナス大府（大府市半月町 3-290）

事業主体：社会福祉法人仁至会

市の関与／シーズの提案のあった企業からの依頼により、ルミナス大府を紹介し、企業とウェルネスバレー関係機関をつないでいます。